



監督 | スタッフ

監督：藤井光、1976年東京生まれ。パリ第8大学美学・芸術第三博士課程 DEA 卒。自然災害を含む、政治的、経済的、精神的な痛みを被る人間の危機的な状況において、芸術表現は何処へ向かうかを問い続けている。その多くは固定カメラで撮影される静的な映像で、映画と現代美術の区分を無効にするその活動は国内外で発表されている。制作スタッフは被災地で文化分野の雇用を生み出す試み「文化なしごと創造事業」として公募で集められ10名のうち4名は福島県在住者となっている。音楽は友友良英が担当する。

朝日座

芝居小屋兼活動写真館として「旭座」という名称で1923年に開館する。町のシンボリックな存在であったその建物は町の中心に佇み、歌舞伎・映画だけでなく、町民の発表の場として賑わう。1952年に名称を「朝日座」に改め、映画全盛の時代には年間入館者数が20万人を超える。その後、テレビ放映の普及、レンタルビデオショップの増加など流通の多様化の影響を受け、徐々に入館者数は減少していく。1991年に閉館してからも「朝日座を楽しむ会」が定期的に上映活動を続けている。



申し込み方法 >>>

以下の情報を記載の上「朝日座」と明記し、2013年9月20日（金）必着で下記へお申し込みください。

1. 氏名（ふりがな） 2. 郵便番号・住所 3. 撮影当日連絡が取れる電話番号

申し込みは郵送・FAX・Eメールにて受付けます。

申し込み先 >>>

朝日座を楽しむ会

〒975-0003 福島県南相馬市原町区栄町 2-20

南相馬市市民活動サポートセンター内

Fax. 0244-23-5420

または一般社団法人コミュニティシネマセンター

〒150-0044 東京都渋谷区円山町 1-5 5F

Fax.03-3461-0760 E-mail: film@jc3.jp

撮影会場 >>>

朝日座

〒975-0001 南相馬市原町区大町 1-120



お車で越しの際は、朝日座の裏に駐車スペースがございます。



クラウド・ファンディング

映画『朝日座』の制作は、被災地で新しい文化分野の雇用を生み出す実践的な試みとしての成果をあげましたが、一般の方々や映画制作の専門家との協働作業によって作られるこの映画を多くの観客に開かれた形で公開するには、作品の質を高める追加撮影と編集、そして優れた宣伝活動が必要になり、多くのみなさまのご出資・ご協力が必要となっています。詳しくは『Motion Gallery』と共同で寄付を募る『独立映画鍋』のサイトをご覧ください。http://eiganabe.net/